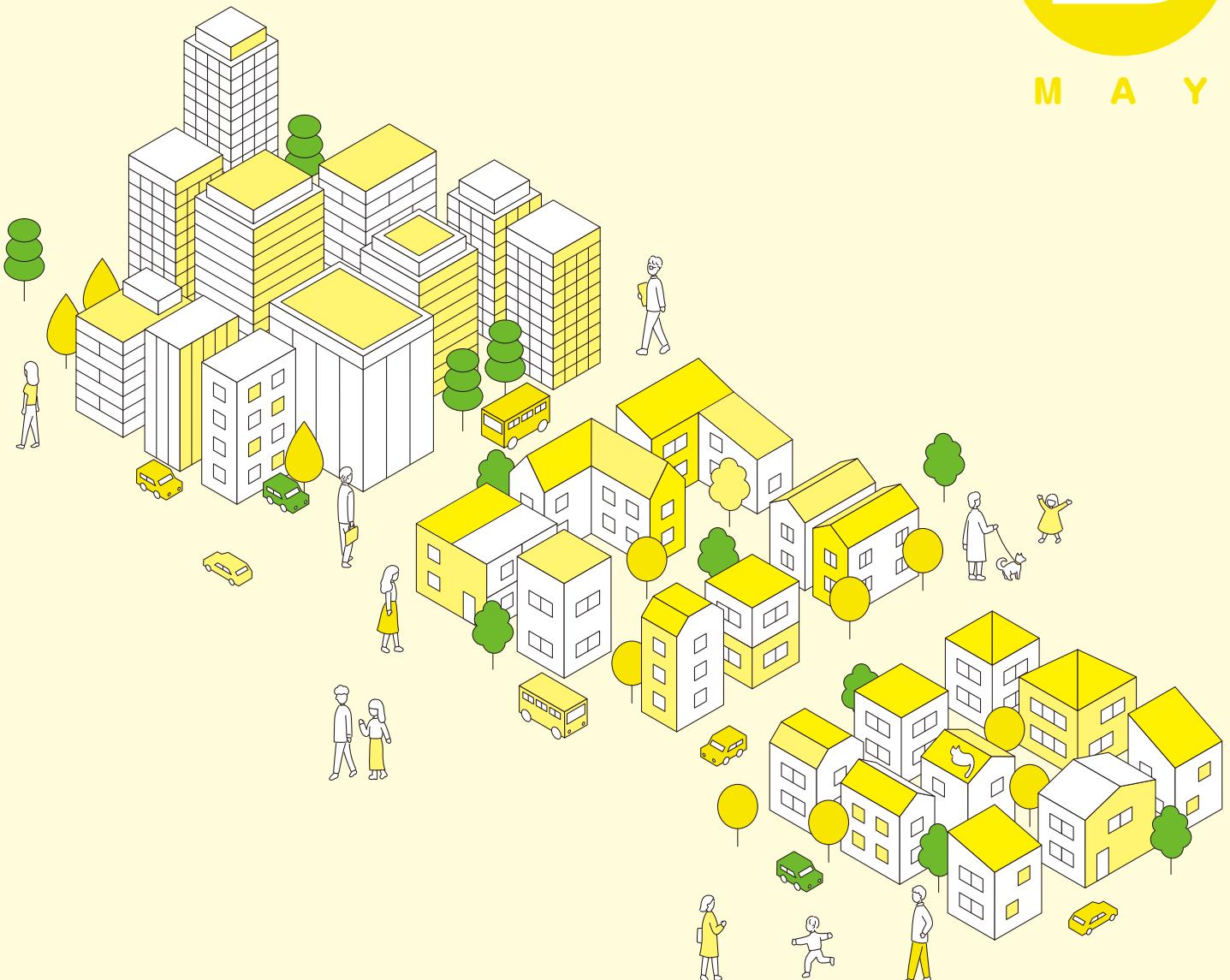


JAPAN FIRE EQUIPMENT INSPECTION INSTITUTE

検定協会だより

令和7年5月 第533号





令和7年5月号

<https://www.jfei.or.jp>

目次

巻頭のことば

1 「世界に輝く平和のまち」の実現に向けて

広島市消防局長 貞森 英樹

協会情報

3 消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧

消火・消防設備部 消防設備課

6 放水型ヘッド等スプリンクラー設備の評価結果概要について

虎ノ門事務所

9 令和6年度の消費者相談件数等と主な相談内容及び回答について

企画研究部 消費者相談室

14 試験設備の移設について（警報設備部）

警報設備部 感知設備課 報知設備課

19 ベトナム社会主義共和国公安省職員に対する「火災予防技術専科研修」の実施について

企画研究部 企画研究課

23 「型式情報検索ページの使用方法について」その2～日本消防検定協会ホームページリニューアル～

企画研究部 情報管理課

おしらせ

27 「令和7年度一般公開」を終えて

企画研究部 情報管理課

30 職員採用情報

総務部 庶務課

31 有効期限を経過した受託評価品目

32 協会通信・業界の動き・消防庁の動き

35 新たに取得された型式一覧

36 検定・性能評価・受託評価数量（令和7年4月）

卷頭のことば

「世界に輝く平和のまち」の実現に向けて

広島市消防局長
貞森英樹



【はじめに】

広島市は、中国山地を背にし、前面を瀬戸内に接する広島県南西部に位置しています。標高約600mの山地部が、東、西、北の三方から平地を囲んでおり、瀬戸内海に注ぐ太田川流域により形成された三角州を中心に発展した、市域面積約906平方キロメートル、人口約118万人の政令指定都市です。

広島市消防局では、広島市のほかに隣接する4町及び廿日市市の一部の消防事務を受託しており、政令指定都市では有数の広大な地域を管轄しています。

平成11年、平成26年、平成30年には多くの犠牲者を出した大規模な豪雨災害を経験しました。これらの経験を踏まえ、いつ発生するかわからない災害に備え、日頃から地域の防災力を高めるとともに、災害による被害を最小限に抑えることができるよう、1局8署32出張所に約1,350名の職員を配置して管内約125万人の住民の安全・安心を確保すべく日夜業務に邁進しています。

【火災調査員と連携した火災予防広報の実施】

管内における過去3年の火災の出火原因1位は「たばこ」、2位は「電気関係※」であり、かつ、「電気関係※」は他の出火原因と異なり「概ね横ばい」で推移しています。また、全国の火災統計（令和5年）においては「電気関係※」は「たばこ」及び「たき火」よりも多く実質1位となっています。

そのような中、電気関係を原因とした火災は、原因究明が難解になる傾向があるため、令和6年度から高度鑑識用資機材（X線透過装置・デジタルマイクロスコープ）を導入し、組織的な火災原因調査能力の向上を図り、火災予防につながる資料を得ています。これらの資料を基に電気関係を原因とした火災を予防する取組として、従来から実施してい

検定協会だより 令和7年5月

る市政広報誌、広報番組、チラシの配布、電気関係事業者との連携等による広報を充実させ、また、市民に直接呼びかける広報では、電気実験装置を活用して電気関係の火災を実演し、コンセント回りの清掃や電気機器の適正な取り扱い等の重要性を訴えています。受講者からは「実演は非常に印象に残った。」と好評を得ています。

今後も引き続き、市民の皆様に電気による火災の危険性、火災予防の重要性をお伝えし、意識の変化から行動へと繋がる広報を展開してまいります。

(※「電気関係」=火災統計分類の「電気機器」「電灯・電話等の配線」「配線器具」「電気装置」の計)

【近隣消防本部との研修の共有】

技術の進展により火災の形態は複雑多様化しており、原因の究明が困難の様相を呈しています。また、近年の火災件数の減少により、火災原因調査を行う機会も減少している中、高い専門性が求められる調査員を如何にして育成していくのかが課題となっています。この課題に対応するために、当局では電気火災等の原因究明に必要な高度な知識と技術を習得するための研修や新任調査員向けの現場調査の基本を学ぶための研修など、職階や調査経験に応じた様々な火災調査研修を実施しており、令和6年度からは当局職員のみならず県内消防本部職員にも参加を募り、県内全体の火災調査技術の向上にも取り組んでいます。

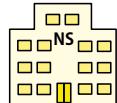
また、建築審査・検査、危険物業務の育成強化にも取り組んでいます。検査物件の絶対数の減少により積極的なOJT研修を行うことが困難な中、令和5年度から近隣消防本部と覚書を結び、建築審査の研修のほか、防火対象物の完成検査や危険物施設の中間検査などで研修の機会を共有しています。

今後も近隣消防本部と協力し、職員の知識・技術の習得や育成に取り組んでいきます。

【おわりに】

広島に原子爆弾が投下されて今年で80周年という節目の年を迎えました。当時は、「75年は草木もはえぬ」と言われましたが、先人の努力により見事な復興と発展を遂げ、今では「平和の象徴」、「希望の象徴」として、世界の人々から認められています。広島市を筆頭とする当局が管轄する市町が、世界を代表する「平和のまち」であり続けるため、より一層市民の安全・安心を確保するための消防行政に尽力してまいります。

結びに、日本消防検定協会並びに全国の消防関係者皆様方の益々の御発展を祈念し、卷頭の言葉とさせていただきます。



消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧

消防・消防設備部消防設備課

下記一覧表は当協会が試験を行い、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に適合するものと判断した消防ポンプ自動車に用

いる機関、車台及び駆動装置を各会社別にまとめたものです。（令和7年4月1日現在）

消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧表

令和7年4月1日現在

社名	機関			車台			車両 総重量 (t)	駆動装置 型式 (ギヤ比)	備考 (適用補助型式等)		
	型式	最高回転等 (kW(PS)/rpm)	総 排気量 (cc)	車名型式	車台型式	ホイル ベース (m)					
N O 4 C	100(136)/3,000 110(150)/2,380	4,009	2RG-XZU600E	XZU600	2.525	3.00	7.30	HWOM35A (0.981)(1.106)	電気式ガバナ (CD-I)		
			2PG-XZU600E	XZU600							
			2RG-XZU640M	XZU640	2.825						
			2PG-XZU640M	XZU640							
			2KG-XZU685M◎	XZU685	2.80						
			2KG-XZU600E	XZU600	2.525						
			2DG-XZU600E	XZU600							
			2KG-XZU640M	XZU640	2.825						
			2DG-XZU640M	XZU640							
			2DG-XZU685M◎	XZU685	2.80						
日野自動車(株)	173(235)/2350 177(241)/2300	5,123	2PG-FD2ABA	FD2AB	3.32	3.90	8.00	HWOM35A (1.418)	電気式ガバナ (CD-II、水槽車、 化学車I、II、はしご車、 屈折はしご車等)		
			2KG-FD2ABA		3.79						
			2DG-FD2ABA								
			2KG-FX2ABA◎	FX2AB	3.79	3.40	8.00				
			2PG-GD2ABA	GD2AB	3.79	6.30	10.99				
			2KG-GD2ABA								
			2PG-GX2ABA◎	GX2AB	3.79	6.00	11.30				
			2KG-GX2ABA◎		6.80						
			4.00		6.10	11.90					
			2PG-FE2ABA	FE2AB	3.79	7.50	14.50				
			2KG-FE2ABA		4.58	7.80					
A O 9 C	230(313)/2,200 235(320)/1700	8,866	2PG-FH1AGA	FH1AG	4.8	8.80	18.00	SP64AG (1.650) AC858W (1.672) AC870W (1.420)(1.610)	電気式ガバナ (水槽車II、化学車 II～V、大I、はしご車、 屈折はしご車、 大型高所放水車等)		
			2KG-FH1AGA	FH1AG	4.8	8.80					
			2DG-FR1AJA	FR1AJ	5.7	13.40	22.00				
			2DG-FQ1AJG	FQ1AJ	5.725	13.90					
			2DG-FW1AJG	FW1AJ	6.325	13.00					
			2PG-FQ1AJG	FQ1AJ	5.725	13.90					
			2PG-FW1AJG	FW1AJ	6.325	13.00					
			2PG-FW1AHG	FW1AH	7.075	15.90	25.00				
			2DG-FW1AHG	FW1AH	7.075	15.80					
			2DG-PR1APJF	PR1APJ	5.51	—	21.55	ZF110R (0.97) ZF110S (0.97)			
			※								

検定協会だより 令和7年5月

				2KG-FH1AGE	FH1AG	4.8	8.80	18.00	SP64AG (1.650) AC858W (1.672) AC870W (1.420) (1.610)	PFC (1.235)	電気式ガバナ (CD-II、水槽車、 化学車I~IV等)			
いすゞ自動車(株)	4 HK 1 F	93(127)/2,700 154(210)/2,400	5,193	2RG-FRR90S2	FRR90	3.26	3.70	8.00						
						3.75								
						3.79	3.70							
				2RG-FRR90S4	FRR90	3.26	3.80	8.00						
						3.79	3.70							
				2PG-FRR90S2	FRR90	3.26	3.70							
						3.75								
						3.79	3.70							
				2PG-FRR90S4	FRR90	3.26	3.80	8.00						
						3.79	3.70							
				2RG-FSR90S2	FSR90	3.26	6.00							
						3.79	6.20	10.99						
				2RG-FSR90S4	FSR90	3.26	6.40							
						3.79								
				2PG-FSR90S2	FSR90	3.26	6.00	10.99						
						3.79	6.20							
				2PG-FSR90S4	FSR90	3.26	6.40							
				2RG-FRS90S2◎	FRS90	3.79	3.20	8.00						
						3.70	2.60							
				2RG-FRS90J4◎	FRS90	3.79	3.15							
				2PG-FRS90S2◎	FRS90	3.79	3.20	8.00						
						3.70	2.60							
				2PG-FRS90J4◎	FRS90	3.79	3.15							
				2RG-FSS90S2◎	FSS90	3.79	5.80	10.99						
						3.70	5.50							
				2RG-FSS90J4◎	FSS90	3.79	5.80							
				2PG-FSS90S2◎	FSS90	3.79	5.80	10.99						
						3.70	5.50							
				2PG-FSS90J4◎	FSS90	3.79	5.80							
				2RG-FSS90S2◎	FTS90	4.10	7.90	16.00						
						9.00								
				2RG-FTS90S2◎	FTS90	4.25	7.60							
				2PG-FTS90S2◎				14.70						
				4 J Z 1 F	103(140)/3,200 110(150)/2,800	2,999	2RG-NLR88M	NLR88	2.75	1.75	4.99	PFA (1.113) (1.195) PFA-1 (1.023) (0.954) (0.977) PFE (1.105)	電気式ガバナ (CD-I)	
				トヨタ自動車(株)	100(136)/3,000 110(150)/2,380	4,009	2RG-NLR88M	NMR88	2.75	3.00	7.49			
				2RG-NMR88N	NLS88	2.76	1.65	4.99						
				2RG-NMR88M	NMS88	2.76	2.00							
				2RG-NLS88AN◎										
				2PG-NMS88AN◎					7.00					
				4 HK 1 F	93(127)/2,700 154(210)/2,400	5,193	2RG-BRR90S2	BRR90	3.26	3.70	8.00	PFC (1.235)	電気式ガバナ (CD-II、水槽車、 化学車I~IV等)	
				2RG-BRR90S4	BRR90	3.26	3.80	8.00						
						3.79	3.70							
				2PG-BRR90S2	BRR90	3.26	3.70							
						3.79	3.70	10.99						
				2PG-BRR90S4	BRR90	3.26	3.80							
						3.79	3.70							
				2RG-BSR90S2	BSR90	3.26	6.00	10.99						
						3.79	6.20							

U D ト ラ ック ス (株)	93(127)/2,700 177(240)/2,400	5,193	2RG-BSR90S4	BSR90	3.26 3.79	6.40	10.99 8.00 8.00 10.99 11.95 10.99 11.95 10.99 11.95 10.99 11.95 10.99 11.95 14.70	PFA (1.113) PFA-1 (1.023) (0.954) (0.977) PFE (1.105)	電気式ガバナ
			2PG-BSR90S2	BSR90	3.26 3.79	6.00 6.20			
			2PG-BSR90S4	BSR90	3.26 3.79	6.40			
			2RG-BRS90S2◎	BRS90	3.79 3.70	3.20 2.60			
			2RG-BRS90J4◎	BRS90	3.79	3.15			
			2PG-BRS90S2◎	BRS90	3.79 3.70	3.20 2.60			
			2PG-BRS90J4◎	BRS90	3.79	3.15			
			2RG-BSS90S2◎	BSS90	3.79 3.70	5.80 5.50			
			2RG-BSS90J4◎	BSS90	3.79 6.40	5.80 6.40			
			2PG-BSS90S2◎	BSS90	3.79 3.70	5.80 5.50			
			2PG-BSS90J4◎	BSS90	3.79 6.40	5.80 6.40			
			2PG-BVR90U2	BVR90	4.10 9.00 8.10	7.90 9.00 8.10			
			2RG-BTS90S2◎ 2PG-BTS90S2◎	BTS90	4.25	7.60			
			2RG-BLR88M	BLR88	2.75	1.75	4.99	PFA (1.113) PFA-1 (1.023) (0.954) (0.977) PFE (1.105)	電気式ガバナ
			2RG-BMR88M	BMR88	2.75	3.00	7.49		

注：車名型式中「※」は全輪操舵、「◎」は全輪駆動であることを示す。



放水型ヘッド等スプリンクラー設備の評価結果概要について

虎ノ門事務所

1 放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の総合評価結果

令和6年4月から令和7年3月までに、放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備として総合評価を受けたものはありませんでした。

2 放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の型式評価結果

令和6年4月から令和7年3月までに、型式評価を行った製品については、次に掲げる試験番号が付与され、型式適合評価に合格したものには、「認定マーク」が貼付されています。

依頼者	評価番号	主要構成装置	型式記号	試験番号	承認年月日
能美防災株式会社	S028	制御部	MUCJ002	S028C006	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	制御部	MUWJ007	S028C007	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	制御部	MUTJ012	S028C008	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	制御部	MUPJ001	S028C009	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	感知部	MDTJ002	S028D007	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	感知部	MDTJ002	S028D008	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	放水部	MNS082-N	S028H004	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	放水部	MNS081-N	S028H005	R6.9.19
能美防災株式会社	S028	手動操作部	MUBJ003	S028M002	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	制御部	MUCJ004	S041C001	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	制御部	MUWJ007	S041C002	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	制御部	MUTJ012	S041C003	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	制御部	MUPJ001	S041C004	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	制御部	SBSP7-1/2BT	S041C005	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	制御部	SPS-18	S041C006	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	感知部	MDTJ002	S041D001	R6.9.19

依頼者	評価番号	主要構成装置	型式記号	試験番号	承認年月日
能美防災株式会社	S041	感知部	MDTJ002	S041D002	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	放水部	MNS082-N	S041H001	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	放水部	MNS081-N	S041H002	R6.9.19
能美防災株式会社	S041	手動操作部	MUBJ003	S041M001	R6.9.19
株式会社愛知国際アリーナ	S042	制御部	MUWJ014	S042C001	R6.7.1
株式会社愛知国際アリーナ	S042	制御部	MUJJ003	S042C002	R6.7.1
株式会社愛知国際アリーナ	S042	制御部	MUCJ007	S042C003	R6.7.1
株式会社愛知国際アリーナ	S042	制御部	MUTJ013	S042C004	R6.7.1
株式会社愛知国際アリーナ	S042	制御部	MVAJ002-150-V	S042C005	R6.7.1
株式会社愛知国際アリーナ	S042	感知部	MDTJ006	S042D001	R6.7.1
株式会社愛知国際アリーナ	S042	放水部	MNM-150E	S042H001	R6.7.1
株式会社愛知国際アリーナ	S042	手動操作部	MUBJ008	S042M001	R6.7.1

3 型式適合評価依頼件数及び型式適合評価依頼個数

令和6年4月から令和7年3月までの放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の型式適合評価依頼件数及び型式適合評価依頼個数は次のとおりでした。

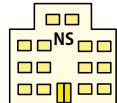
(1) 型式適合評価依頼件数

型式適合評価依頼件数	123
------------	-----

(2) 型式適合評価依頼個数

主要構成装置		月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
放水部	固定式ヘッド	458	0	1,362	50	276	81	
	可動式ヘッド	5	9	4	10	4	0	
感知部		10	9	8	18	4	0	
制御部	制御盤	10	8	13	6	16	12	
	その他	292	173	50	40	251	256	
手動操作部		16	13	16	19	35	17	
受信部		0	0	0	0	1	0	

主要構成装置		月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
放水部	固定式ヘッド	381	70	350	845	19	58	3,950	
	可動式ヘッド	8	13	5	0	9	0	67	
感知部		14	17	10	0	14	0	104	
制御部	制御盤	2	10	14	15	9	2	117	
	その他	24	36	28	9	103	240	1,502	
手動操作部		8	15	13	40	16	3	211	
受信部		0	1	0	0	0	0	2	



令和6年度の消費者相談件数等と主な相談内容及び回答について

企画研究部 消費者相談室

当協会では、消費者からの相談や問い合わせに応じるために消費者相談室を設けています。

令和6年度に消費者相談室に寄せられた相談や問い合わせについて、まとめると次のようになります。

1 相談などの件数

令和6年度の相談などの総件数は、362件でした。

品目別の件数、構成比をそれぞれ下表及び下図に示します。

表 令和6年度の消費者相談品目別件数及びその構成比

品目	件数 [件]	構成比 [%]
消火設備関係（消火器を除く）	17	5
警報設備関係	12	3
避難設備関係	1	0
消火器	63	18
住宅用防災警報器	50	14
エアゾール式簡易消火具	200	55
その他	19	5
合計	362	100

注1：「その他」は、品目以外に関する相談などです。

注2：構成比は、小数点以下については端数処理をしている。

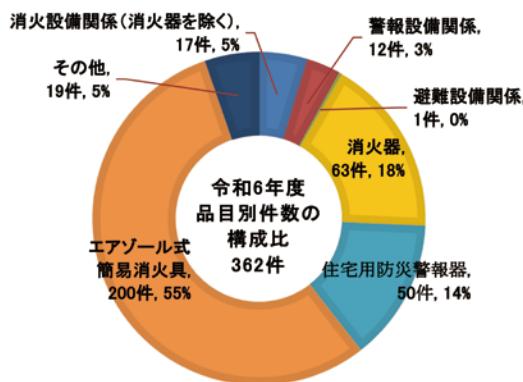


図 令和6年度の消費者相談に係る品目別件数

検定協会だより 令和7年5月

2 主な相談の内容

相談が多かった主な品目は、エアゾール式簡易消火具、消火器、住宅用防災警報器（通称：住宅用火災警報器）です。また、その内容として、消火器及びエアゾール式簡易消火具においては廃棄方法について、住宅用防災警報器においては警報に関するものが多くありました。

そこで、これらの相談に対する具体的な回答を質疑応答として、また、参考に外観の一例を次に示します。

(1) 消火器関係

Q： 廃棄するにはどのようにすれば良いですか？

A： 現在消火器には、大きく「業務用消火器」と「住宅用消火器」があります。消火器は、「処理困難物」扱いとなり、一般ゴミとして引き取ってもらえない。株式会社消火器リサイクル推進センター、製造者又は販売店にご連絡ください。

株式会社 消火器リサイクル推進センター

〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-7 蔵前酒井ビル2階

TEL：03-5829-6773 ホームページ：<https://www.ferpc.jp>

消火器リサイクル推進センターでは廃棄の方法をいくつか定めています。

- ① 特定窓口（全国に約5,000カ所）に引き取りを依頼する。
- ② 指定引取場所（全国に約200カ所）に直接持ち込む。
- ③ ゆうパック（ゆうパック専用コールセンター：0120-822-306）で回収を依頼する。

いずれの場合にも、費用（リサイクルシール代や運搬費）がかかることがあります。

詳しくは、消火器リサイクル推進センターのホームページをご覧ください。

(2) 住宅用防災警報器（通称：住宅用火災警報器）関係

Q： 警報が鳴っています。どうすれば良いですか？

A： 警報の音や音声内容に応じて、以下の表を参考に対応してください。

音や音声内容	警報の種類	対応
「ピーピーピー」と鳴動する。 又は 「火事です」と鳴動する。	火災警報音	<p><u>実際に火災が発生していないか安全を確認してください。</u></p> <p>【火災が発生している場合】 避難してから119番に通報するなど適切な処置をしてください。</p> <p>【火災が発生していない場合】 タバコや魚を焼いているときの煙、調理や風呂の湯気、ホコリなどを感知している可能性があります。原因を除去してください。</p>
「ピッ」と一定の間隔で鳴動する。 又は 「電池切れです」と鳴動する。	電池切れ警報音	<p>電池切れですので電池を交換してください。</p> <p>また、<u>設置から10年以上経過している場合は、内部の電子機器の劣化が進んでいる</u>おそれがあるため、<u>住宅用防災警報器本体の交換をお奨めします。</u></p>
「ピッ、ピッ、ピッ」と一定の間隔で鳴動する。 又は 「故障です」と鳴動する。	故障警報音	故障ですので住宅用防災警報器を取り替えてください。

警報を停止させるには、警報停止ボタンを押すか、ひもを引っ張ってください。ただし、住宅用防災警報器内に残った煙、ホコリなどにより火災警報音が鳴動している場合は、一定時間（5～15分）後に再度警報を発することができます。また、ガス漏れを警報する機能を持った住宅用防災警報器もありますので、警報される音や詳しい取扱い方法については、取扱説明書をお読みいただくか製造者又は販売店にお問い合わせください。

Q： 住警器を取り外すにはどうすれば良いですか？

A： 一般的に住宅用防災警報器は、機器を設置側（天井や壁）に少し押し込みながら反時計回りにひねると外すことができます。取扱説明書をご確認ください。

(3) エアゾール式簡易消火具関係

Q： 廃棄するにはどのようにすれば良いですか？

A：外観に腐食などの異常がないか十分安全を確認して、殺虫剤や化粧品のスプレー缶と同様に、屋外等安全な場所で、内部の消火薬剤及びガスを完全に抜いてください。

【一般的な廃棄方法：消火薬剤が液体の場合】

- ・屋外の周りに人がいない安全な場所で、大きなビニール袋の中に新聞紙などを数枚丸めて入れ、入れた新聞紙などに消火薬剤を吸い取らせるようにして、消火薬剤及びガスの全量を放射してください。
- ・万一、肌に付いた場合には、水で洗い流してください。
- ・目に入った場合は、水で洗い流して専門医の診察を受けてください。
- ・消火薬剤を吸い取らせた新聞紙などは燃えるゴミとして、また、容器は殺虫剤や化粧品のスプレー缶と同様に、お住まいの市町村のゴミ分別に従って処分してください。

なお、消火薬剤がハロンの場合の廃棄は、製造者又はお住まいの都道府県又は市町村の環境・清掃部局にご確認ください。

〈参考〉 外観の一例

住宅用消火器	住宅用火災警報器	エアゾール式簡易消火具
	 天井設置タイプ	 壁設置タイプ

3 相談などの問い合わせ先

日本消防検定協会 (<https://www.jfeii.or.jp>)

受付時間 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00 (土日祝日を除く)

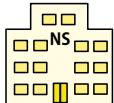
- ・ 本所 消費者相談室 (企画研究部内)

〒182-0012 東京都調布市深大寺東町4-35-16

TEL : 0422-44-8451 FAX : 0422-47-3991

- ・ 大阪支所 消費者相談室
〒530-0057 大阪府大阪市北区曾根崎2-12-7 清和梅田ビル4階
TEL : 06-6363-7472 FAX : 06-6363-7475
- ・ 虎ノ門事務所 消費者相談室
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館11階
TEL : 03-5962-8904 FAX : 03-5962-8905
- ・ 消防用設備等に関するお問い合わせは、ホームページからのお問い合わせフォームで受け付けています。

<https://www.jfeii.or.jp/contact/>



試験設備の移設について（警報設備部）

警報設備部 感知設備課
報知設備課

1. はじめに

警報設備に係る試験設備は、中央試験場の建て替えのため令和6年10月から新中央試験場へ順次移設を開始し、令和7年3月に移設が完了しました。

本誌では、新中央試験場の警報設備に係る試験室及び試験設備を紹介します。

2. 新中央試験場の試験室及び試験設備

新中央試験場の警報設備に係る試験室は、1階及び2階にあります。

1階には、環境試験室、粉塵試験室、振動・衝撃試験室、散水試験室、腐食試験室及び周囲温度試験室があります。また、今後、新設予定の電波暗室及び半無響室があります。

2階には、感知器、中継器、受信機及び漏電火災警報器等の試験室があります。

移設後の試験室及び試験設備は次のとおりです。

(写真 左：旧中央試験場、右：新中央試験場)

(1) 1階各試験室

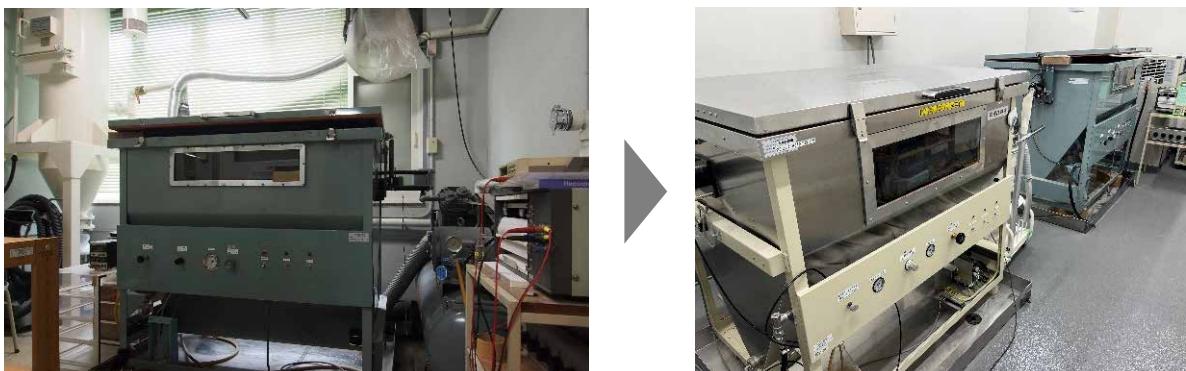
ア 環境試験室

環境試験中に接続する受信機等を配置するスペースが広くなりました。



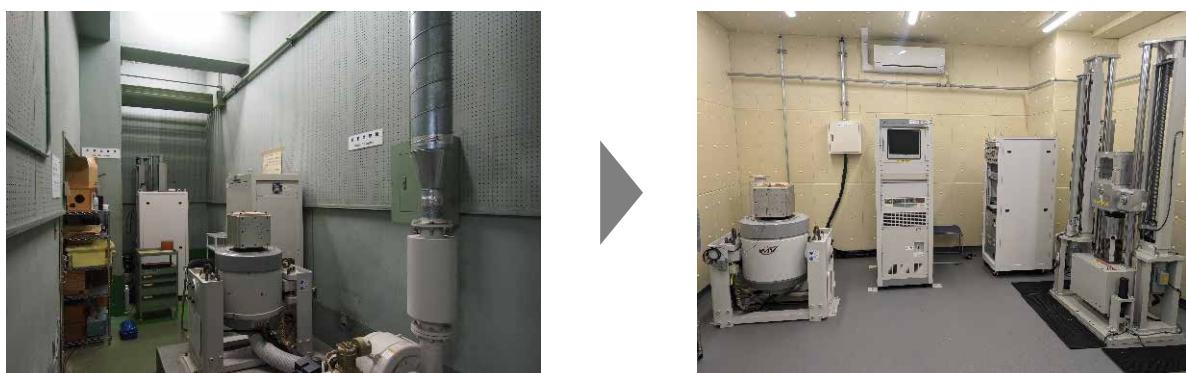
イ 粉塵試験室

分場に設置していた粉塵試験機を移設し、同室に2台設置しました。



ウ 振動・衝撃試験室

防音壁に変更しました。また、作業スペースが広くなりました。



エ 散水試験室

ポンプ、散水ヘッド等を新しくしました。



オ 腐食試験室

腐食試験中に接続する受信機等を配置するスペースが広くなりました。



カ 周囲温度試験室

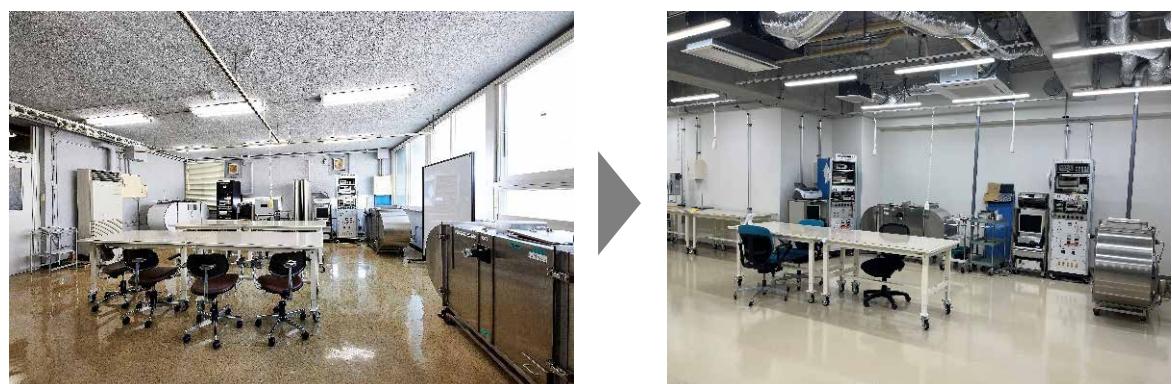
旧中央試験場で使用していた周囲温度試験機2台は廃棄し、新たに2台設置しました。



(2) 2階各試験室

ア 感知器試験室（煙）

窓等の開口部を減らし、冷暖房の省エネ化を図りました。



イ 感知器試験室（熱）

窓等の開口部を減らし、冷暖房の省エネ化を図りました。



ウ 中継器及び受信機試験室

旧中央試験場での試験室の数は12でしたが、13となり、1室増加しました。



エ 漏電火災警報器試験室



オ 予備電源試験室

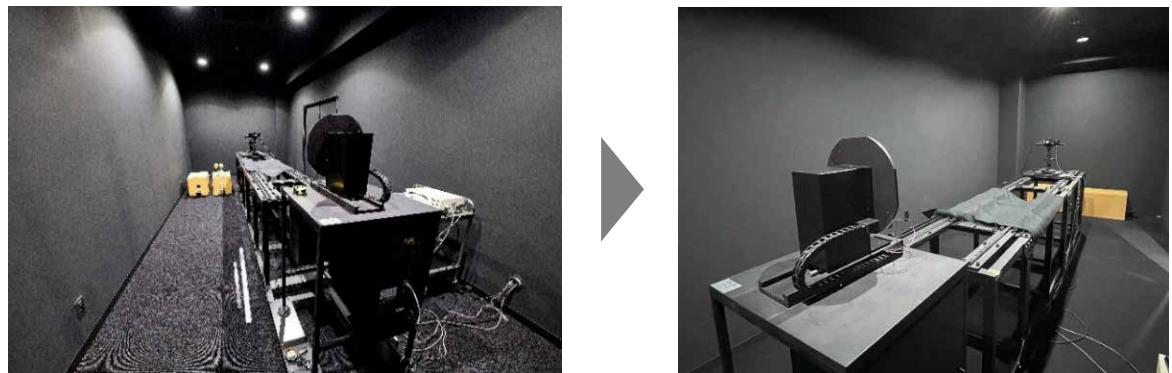


カ 変圧器試験室

窓等の開口部を減らし、冷暖房の省エネ化を図りました。



キ 光警報装置試験室

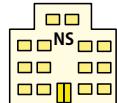


3. さいごに

皆様からあたたかいご協力をいただき、新中央試験場への試験設備の移設が完了しました。

新中央試験場への移設を機に、警報設備部一同、気持ちを新たに皆様の信頼に沿えるよう、一意専心に努めていきます。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ベトナム社会主義共和国公安省職員に対する 「火災予防技術専科研修」の実施について

企画研究部 企画研究課

日本消防検定協会では、令和5年2月に実施した「火災予防技術基礎研修」（以下「基礎研修」という。）に引き続き、消防庁予防課及び一般社団法人全国消防機器協会と協力して、ベトナム社会主義共和国公安省（以下「PDFR」という。）職員に対する「火災予防技術専科研修」（以下「専科研修」という。）を実施いたしました。

1 日程・参加者等

①消火器研修プログラム

消火器及び消火器用消火薬剤を対象とした研修

〈日 程〉

令和7年2月17日（月）～2月21日（金）

〈参加者〉

PDFR ヴ・チュン・ヒエウ 少佐

同 フアン・ティエン・フン 大尉

〈視察研修〉

モリタ宮田工業株式会社（茅ヶ崎工場）

②消防設備研修プログラム

金属製避難はしご及び緩降機並びに可搬消防ポンプを対象とした研修

〈日 程〉

令和7年3月3日（月）～3月7日（金）

〈参加者〉

PDFR ブイ・ティ・ヒエン 大尉

同 グエン・ド・タン・ヴィ 大尉

〈視察研修〉

トーハツ株式会社（R&Dセンター）

オリロー株式会社（本社）

③警報設備研修プログラム

自動火災報知設備に用いる感知器・発信機、中継器及び受信機並びに住宅用防災警報器を対象とした研修

〈日 程〉

令和7年3月10日（月）～3月14日（金）

〈参加者〉

PDFR ダン・ミン・トゥアン 中佐

同 グエン・タイン・ハ 少佐

〈視察研修〉

ホーチキ株式会社（本社）

2 専科研修カリキュラム

専科研修のカリキュラムは、次表のとおりです。

表 専科研修カリキュラム

研修科目
機能・構造作動原理等
規格や基準の構成、内容等
試験方法、判断基準等
日本の消防機器業 工場等視察

各プログラムでは工場等視察を除き、当協会の職員が講師を務めました。

3 研修の様子



開講式
日本消防検定協会理事による挨拶



消火器研修プログラム
講義の様子



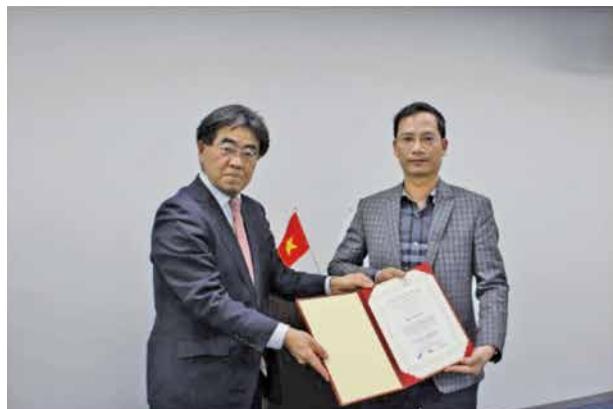
消火器研修プログラム研修生と



消防設備研修プログラム
可搬消防ポンプの解説の様子



警報設備研修プログラム
受信機のデモ機による解説の様子



日本消防検定協会理事から
修了証の授与



研修生の挨拶

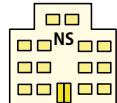
4 終わりに

平成30年10月に締結された覚書に基づき令和元年に基礎研修と専科研修からなる「火災予防技術研修」が、消防庁予防課からPDFRに提案されてから約6年。新型コロナウイ

検定協会だより 令和7年5月

ルス感染症の世界的な拡大やベトナム国内での火災事案の発生、ベトナム国公安省消防救難警察局の組織改編などにより、度重なる延期等があった本事業でしたが、専科研修の3つのプログラムに、計6名のPDFR職員を受入れ、無事に終えることができました。研修生からは、本事業がベトナム国内の火災予防制度の構築において、とても有意義であったこと、そして、引き続き日本の規格・認証制度を参考に、ベトナム国内の火災予防政策を推進していく旨の発言があり、覚書に基づく取り組みとして一定の成果が得られたと考えます。

当協会では引き続き、ベトナム国との消防分野における協力関係の強化に寄与できるよう、消防庁及び一般社団法人全国消防機器協会等関係団体と連携しながら取り組んで参ります。



「型式情報検索ページの使用方法について」その2 ～日本消防検定協会ホームページリニューアル～

企画研究部 情報管理課

1 はじめに

前回4月号においては、ホームページリニューアルに伴い新たに設けた、型式情報検索ページの「失効状況検索（型式番号）」について紹介したところです。

今回は、型式情報検索ページのもう1つの検索方法「承認一覧検索（キーワード）」についてご紹介します。

「失効状況検索（型式番号）」の検索方法は、
[検定協会だより（4月号）](#)をご参照ください。

2 検索ページの使用方法

「失効状況検索（型式番号）」が型式番号から型式情報を検索できることに対して、「承認一覧検索（キーワード）」は、型式承認された年、検定対象機械器具等の種別や製造メーカーなど様々な方法で型式情報を検索することができ、一度に複数の型式情報を検索することができます。今回はパソコン画面での操作方法を例にご紹介します。

日本消防検定協会のホームページURL <https://jfeii.or.jp/>



トップページから検索ページへの入り方

【トップページ画面】



検定協会だより 令和7年5月

【型式情報検索ページ「承認一覧検索（キーワード）」の入力画面】

【解説】

上記①～⑤の項目を入力（選択）

① 型式承認された年から検索する場合に入力してください。
 ※「開始対象年」のみを入力した場合は、単年での検索が可能です。
 ※「開始対象年」と「終了対象年」を入力した場合は、複数年での検索が可能です。
 （「終了対象年」は「開始対象年」より未来の年を入力する必要があります。）

② 製造メーカーなどの申請者から検索する場合に入力してください。申請者名の一部の入力でも検索可能です。
 例：能美防災株式会社 ⇒ 「能美」、パナソニック株式会社 ⇒ 「パナ」
 ※ 申請者名は、型式承認申請時の名称で登録されているため、会社の吸收・合併等の理由により、現状の会社名と変更している可能性があります。

③ 検定対象機械器具等（品目）を絞って検索する場合に選択してください。複数選択が可能です。

④ 失効している型式番号のみを検索したい場合には、こちらをチェックしてください。
 （チェックしていない場合は、失効していない型式番号、失効している型式番号の両方を検索します。）

⑤ フリーワードにより検索する場合にはこちらを入力してください。（スペースを入れることで複数のワードからの検索が可能です。）
 例：光電式スポット型感知器（1種）を検索する場合 ⇒ 「光電 スポット 1種」
 また、「感第〇～〇」のように直接型式番号を入力することで、型式変更がある場合の型式番号（型式情報）の検索も可能です。

【型式情報検索ページ「承認一覧検索（キーワード）」の検索結果画面】

平成23年～平成24年に型式承認された消火器のうち、粉末A B C 消火器を検索した場合

型式情報検索

失効状況検索（型式番号）
承認一覧検索（キーワード）

型式承認年

平成23年（2011年）～平成24年（2012年）

申請者

入力内容が申請者名に部分一致するものを検索します（2文字以上入力してください）

品目

消火器 消火器（自動車用） 消火器用消火薬剤 泡消火薬剤
 消火用ホース 差込式結合金具 感知器 ねじ式結合金具
 発信機 中繼器 受信機 漏電火災警報器
 閉鎖型スプリングラー 流水検知装置 一斉開放弁 金属製避難はしご
 ヘッド 住宅用防災警報器
 緩降機

失効状況

※チェックをいれると失効した型式のみを検索します。

フリーワード

ABC

検索

※自主表示届出番号については、一般社団法人全国消防機器協会のホームページを参照してください。

承認一覧検索（キーワード）結果

21047件中 237件 が見つかりました。

※申請者（会社）の名称は、吸收・合併等により変更となっている場合があります。

失効状況	型式番号	種別	申請者	型式	型式承認年月日
失効	消第23～2号	小型消火器	株式会社丸山製作所	粉末（A B C）3.0kg（蓄圧式、鉄製）	（平成23年）2011年01月28日
失効	消第23～3号	小型消火器	株式会社丸山製作所	粉末（A B C）3.0kg（蓄圧式、ステンレス製）	（平成23年）2011年01月28日
失効	消第23～4号	小型消火器	株式会社丸山製作所	粉末（A B C）3.0kg（蓄圧式、鉄製）	（平成23年）2011年04月20日
失効	消第23～5号	小型消火器	株式会社丸山製作所	粉末（A B C）3.0kg（蓄圧式、ステンレス製）	（平成23年）2011年04月20日
	消第23～101号	小型消火器	株式会社初田製作所	粉末（A B C）3.0kg（蓄圧式、鉄製）	（平成23年）2011年01月18日
	消第23～102号	小型消火器	株式会社初田製作所	粉末（A B C）3.5kg（蓄圧式、鉄製）	（平成23年）2011年01月18日
	消第23～233号	小型消火器	三津浜工業株式会社	粉末（A B C）2.0kg（CO ₂ 加圧式、鉄製）	（平成23年）2011年02月17日

1 2 3 >

消防法施行令別表第3に掲げる、検定対象機械器具等の「種別」による分類。

Click

詳細情報が表示されます。

品目コード	消	品目	消火器	失効状況	失効	Clickすることで、根拠となる省令等を確認することができます。
型式番号	消第23～2号	種別	小型消火器	申請者	株式会社丸山製作所	※申請者（会社）の名称は、吸收・合併等により変更となっている場合があります。
型式	粉末（A B C）3.0kg（蓄圧式、鉄製）			型式承認年月日	（平成23年）2011年01月28日	
失効年月日	（平成24年）2012年01月01日	型式失効根拠	平成22年総務省告示第440号／平成23年総務省告示第503号		PDF	
設置上の特例期限	（令和3年）2021年12月31日 ※型式失効しても、父孫等を要しない省令で定める期限	設置上の特例期限根拠	平成22年総務省令第112号		PDF	
備考	平成22年総務省令第111号の規格改正により基準に適合しなくなったもの。老朽化消火器の破裂事故等を踏まえ、消火器に安全上の注意事項等についての表示を義務付けるとともに、消火器の定期点検において耐圧性能点検を導入する等の改正を行った。	平成22年総務省令第111号				

検定協会だより 令和7年5月

3 型式情報検索ページに関する質問

Q 1. 日本消防検定協会が実施している受託評価業務、性能評価業務に関する消防用設備等の情報について、型式情報検索ページで検索することができますか？

A 1. 型式情報検索ページで検索できるのは、消防法第21条の2第1項に規定される検定対象機械器具等のみです。

なお、過去に検定対象機械器具等に該当していた、漏電火災警報器や消防用ホースなどの消防用設備等の型式情報については検索可能です。

Q 2. 自主表示対象機械器具等（消防法第21条の16の2）に該当する消防用設備等に関しては、どのように確認すれば良いでしょうか？

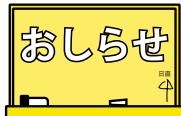
A 2. 自主表示対象機械器具等については、入力画面の「検索ボタン」の下部に記載している「[一般社団法人全国消防機器協会](#)」のホームページより確認することができます。



4 おわりに

前回の4月号に続き、検索ページの使用方法についてご紹介させていただきましたがいかがだったでしょうか。本検索ページにあっては、これまでホームページ内で発信していた型式情報をより調べやすくなるよう新たに設けたところです。使用するにあたり、ご意見等ありましたら、情報管理課までお問い合わせください。

本検索ページが一般市民の方をはじめ、消防行政に寄与されることを期待します。



「令和7年度一般公開」を終えて

企画研究部 情報管理課

日本消防検定協会、消防研究センター、消防大学校及び一般財団法人消防防災科学センターでは、例年、発明の日（4月18日）を含む科学技術週間にあたり科学技術について広く一般の方々に理解と関心を深めていただくことを目的として、毎年4月第3週の金曜日に「一般公開」を開催しており、今年は下記のとおり実開催と共にオンライン開催（消防研究センターホームページによる）を実施しました。当協会におきましては、昨年11月に新中央試験場が竣工して以来初めての一般公開を迎えることとなりました。

当日は、とても清々しい朝を迎えた日となり一般の方から消防関係者の方まで多くの方のご来場をいただき盛大に執り行うことができ、総来場者数としては436名（速報値）の方に足を運んでいただきました。

当協会の公開項目といたしまして、コロナ禍以前に公開していました公開内容を全て復活することができ、昨年度までに公開した内容の他、情報館3階でのビデオ放映及び休憩室（セルフサービスでのお茶・コーヒーの提供）を再開し、たくさんの来場者の方にご利用をいただきました。

来年度におきましては、更にたくさんの皆様のご来場をお待ちしたいところです。

最後になりますが、ご来場いただきました皆様と一般公開開催に向けてご協力をいただきました皆様に対し御礼を申し上げます。有難うございました。

記

1 オンライン開催

（1）日 時

令和7年4月11日（金）10時00分から

令和7年4月21日（月）16時00分まで

（2）掲載アドレス

消防研究センターホームページ (<https://nrifd.fdma.go.jp>)

（3）当協会の公開内容

日本消防検定協会の紹介、業務内容、消防機器の型式情報等を映像により紹介しました。

検定協会だより 令和7年5月

2 実開催

日 時 令和7年4月18日（金）10時00分から16時00分まで

【公開内容（日本消防検定協会）】

項目	概要	場所・時間
住宅用消火器による消火実演	住宅用消火器による天ぷら油火災の消火実演を行いました。	消火散水試験場 着火時間：①11:30 ②14:30
消火器の操作体験及び展示	訓練用消火器を用いて目標物に放射する消火体験を行いました。	消火散水試験場 操作体験・消火体験：随時（12:00～13:00は除く）
住宅用防災警報器の展示及び実演	住宅用防災警報器を紹介しました。また、無線式の住宅用防災警報器が連動する様子を紹介しました。	情報館1階 実演：随時
各種消防用機械器具等の展示	消火器、スプリンクラーヘッド、火災報知設備、消防用ホースなど、各種消防用機械器具等を紹介しました。	情報館1・2階展示室 随時
屋内消火栓の操作説明及び操作体験	屋内消火栓の構造説明と操作実演を行いました。また、屋内消火栓を用いて、目標物に放水する消火操作体験を行いました。	スプリンクラー消火試験場 実演：随時
ビデオ放映	日本消防検定協会及び消防機器の検定制度についてのビデオを放映しました。	情報館3階会議室
休憩所	コーヒー、お茶をセルフサービスで用意し、スタンプラリーの記念品を配布しました。	情報館3階会議室



スタンプラリー記念品配布



ビデオ放映



消防用機械器具等の展示説明



天ぷら油火災消火実演 概要説明



天ぷら油火災消火実演



消火器の操作体験



屋内消火栓の消火操作体験



住宅用防災警報器の連動実演

検定協会だより 令和7年5月



職員採用情報 [新卒]

総務部 庶務課



【求む！理系人材】

「日本唯一の検定機関」として、信頼できる消防機器のために貢献！

私たちの身近にある消防機器（感知器、消火器、スプリンクラーヘッド等）は、どれも緊急時には確実に動作しなければならないものばかりです。

これらの消防機器には、日本消防検定協会が、法令で定められた技術基準に基づく試験・検査を実施し、合格した製品すべてに「国家検定合格之証」の銀色の表示が付されています。また、これらの消防用機器の試験等をとおして、火災等の災害からの被害を軽減させることを目的とし、国民生活の“安全・安心”に直結する業務を行っています。

【求める人材】

- ◆ 社会の安全・安心の役に立ちたい人
- ◆ 幅広く学ぶ意欲のある人



【採用情報】

日本消防検定協会ホームページの採用情報をご覧ください。

<https://www.jfeii.or.jp/recruit/>

採用情報
QRコード

【担当者からのメッセージ】

当協会は、100人程度の小さな組織ですが、定年まで安定して働いて頂ける環境が整っています。また、完全週休2日制で、福利厚生もあり、レジャーや宿泊の補助を受けることができます。

ぜひ、社会の安全・安心に貢献したい方、幅広く知識を身につけたい方をお待ちしています。



有効期限を経過した受託評価品目

【非常警報設備・遠隔操作器】

型式番号	承認年月日	住所	依頼者	有効期限の終期日
認評放第 2019~9~1号	R2.2.26	兵庫県神戸市中央区港島中町七丁目2番1号	TOA株式会社	R7.2.25

【非常警報設備・増幅器及び操作部】

型式番号	承認年月日	住所	依頼者	有効期限の終期日
認評放第 30~6~2号	R2.2.26	兵庫県神戸市中央区港島中町七丁目2番1号	TOA株式会社	R7.2.25

上記の機械器具等が、型式に係る有効期限を経過しましたのでお知らせします。

上記の機械器具等は、有効期限の終期日以降、当該型式に基づく製品について新たに当協会の型式適合評価を受け、合格表示が行われることはありません。

既に設置され又は型式適合評価を受け合格表示が行われた上記の機械器具等については、型式適合評価時において基準への適合性が確認されており適正な設置及び維持管理がされていれば、当該有効期限の経過による使用への影響はありません。

協会通信

■■業界の動き■■

一 会議等開催状況一

◆ (一社) 日本火災報知機工業会◆

○業務委員会 (令和7年4月8日)

- ・あり方検討小委員会について
- ・第2回ホームページリニューアル検討小委員会について
- ・拡大員会に関するアンケート結果について
- ・消防法令にもとづく各種手続きにおける行政書士法違反の防止について
- ・住宅用火災警報器等及び消火栓の配布モデル事業への協力について
- ・委員長連絡会報告

○メンテナンス委員会

(令和7年4月15日)

- ・点検実務検討小委員会報告
　保守点検ページのアクセス解析について
　ホームページ保守点検サイトの改訂について
- ・維持運用管理手法小委員会報告
　点検実務マニュアル等の改訂について
　消防機関へ通報する火災報知設備の取扱いについて
　大規模倉庫における効果的な防火管理に関するガイドラインについて
　消防用設備等の試験基準及び点検要領並びに防火対象物点検の点検要領の

一部改正について(通知)」の一部訂正について 等

- ・委員長連絡会報告

○技術委員会 (令和7年4月17日)

- ・火報試験基準検討小委員会報告
- ・あり方検討小委員会報告
- ・感震ブレーカーの普及推進に関する計画の策定等について
- ・福岡市での感知器誤作動について(続報)
- ・消防機関へ通報する火災報知設備の取扱いについて
- ・委員長連絡会報告

○設備委員会 (令和7年4月24日)

- ・設備性能基準化小委員会報告
　光警報装置ピクトグラムの広報活動について
- ・公共建築工事標準仕様書等の公開について
- ・工事基準書改訂小委員会報告
　工事基準書ハンドブックの改訂について
　令和6年版工事基準書の誤記訂正について
- ・官公庁関連、業界動向等について
　消防法施行令の一部を改正する政令等の運用について(通知)の一部改正について
　感震ブレーカーの普及推進に関する

協会通信

協会通信

計画の策定等について 等
・委員長連絡会報告

○システム企画委員会
(令和7年4月24日)

- ・火報企画検討小委員会報告
- 火災通報装置の経緯について
- 消防機関へ通報する火災報知設備の取扱いについて
- 光警報装置の設置啓発活動について
- ・感震ブレーカーの普及推進に関する計画の策定等について
- ・委員長連絡会報告

○住宅防火推進委員会
(令和7年4月23日)

- ・交換推進WG進捗について
- ・住宅用火災警報器検定申請数について
- ・お客様電話相談室受付結果について
- ・東京消防庁集計 令和6年の世論調査の結果について
- ・令和7年度「広報資料の無償提供事業」の取組について
- ・Xの掲載イベント開催状況等について
- ・委員長連絡会報告

◆ (一社) 日本消火器工業会◆

○第1回企業委員会(令和7年4月10日)

- ・検定等申請・回収状況
- ・機器協会事務局長会議報告
- ・消火器リサイクル推進センターからの

報告

①指定引取場所変更情報・クレーム情報
②2024年度 下半期帳簿統括表報告のお願い
③特定窓口の順法管理
④特定窓口(第5次募集)の業務開始について
⑤離島対策の状況について
・その他

①社会貢献事業のあり方について

○第1回理事・総務合同会議
(令和7年4月22日)

定例報告

- ・令和6年度3月消火器申請・回収状況
- ・機器協会事務局長会議報告
- ・令和7年度定時総会、会長表彰式及び祝賀会・懇親会

審議事項

- ・定時総会議案について
- ・大船渡大規模火災に対する義援金について

◆ (一社) 日本消火装置工業会◆

○第453回「技術委員会」
(令和7年4月4日 日本消火装置工業会)

- ・第一部会、第二部会及び第三部会活動報告について
- ・令和7年度版 機械設備工事監理指針改訂委員会報告について

協会通信

検定協会だより 令和7年5月

協会通信

- ・消防用設備等のリモート点検に関する意見聴取会報告について
- ・消防用設備等の経年劣化等に対応した点検方法等検討会報告について
- ・その他

○第233回「第一部技術分科会」

(令和7年4月18日 日本消防装置工業会)

- ・予防事務審査基準への対応について
- ・その他

○第231回「第二部技術分科会」

(令和7年4月17日 日本消防装置工業会)

- ・薬剤リストの更新について
- ・役員会での要請事項について
- ・点検基準、点検結果報告書、試験結果報告書等について
- ・点検要領、試験基準等について
- ・その他

○第212回「第三部技術分科会」

(令和7年4月15日 日本消防装置工業会)

- ・新ガス消防設備の設置基準等について
- ・その他

◆ (一社) 日本消防ポンプ協会◆

○総務委員会

(令和7年4月18日 (株)モリタ会議室

+ web)

- ・事務局長会議等報告について
- ・令和7年度第1回理事会について
- ・大船渡の山火事に係る義援金について
- ・令和7年度予算（案）について
- ・型式適合評価依頼取扱台数について
- ・その他

○大型技術委員会・検定協会合同会議

(令和7年4月14日 web)

- ・動力消防ポンプ品質評価細則について
- ・その他

○小型技術委員会

(令和7年4月7日 web)

- ・可搬消防ポンプ品質評価細則について
- ・その他

○小型技術委員会

(令和7年4月24日 日本消防ポンプ協会会議室)

- ・可搬消防ポンプ品質評価細則について
- ・可搬消防ポンプ整備資格者講習について
- ・その他

○小型技術委員会・検定協会合同会議

(令和7年4月24日 日本消防ポンプ協会会議室)

- ・可搬消防ポンプ品質評価細則について
- ・その他

協会通信

新たに取得された型式一覧

型式承認

種 別	型 式 番 号	申 請 者	型 式	承 認 年 月 日
流水検知装置	流第2025~6号	ヤマトプロテック株式会社	湿式K50・60、作動弁型150 (10K、縦)	R7.3.12
	流第2025~7号	株式会社宮本工業所	湿式K80、パドル型65 (10K、縦横両用)	R7.3.12
一斉開放弁	開第2025~1号	ヤマトプロテック株式会社	加圧型125 (10K、縦横両用)	R7.3.12
金属製避難はしご	は第2025~1号	株式会社瀬戸興産	ハッチ用つり下げはしご (折りたたみ式)	R7.3.6
	は第2025~2号	株式会社セフ	ハッチ用つり下げはしご (折りたたみ式)	R7.3.6

品質評価 型式評価

種 別	型 式 番 号	依 賴 者	型 式	承 認 年 月 日
特殊消防ポンプ自動車又は特殊消防自動車に係る特殊消火装置	M42L-AS-3	株式会社モリタテクノス	はしご付消防ポンプ自動車	R7.3.28
	TW-100-1	帝国纖維株式会社	水槽付消防ポンプ自動車	R7.3.3
消防用積載はしご	品評は第2025~1号	日本消防梯子株式会社	伸縮式3連 (8.7m、チタン製)	R7.3.19

品質評価 型式変更評価

種 別	型 式 番 号	依 賴 者	型 式	承 認 年 月 日
消防用ホース	H0225FC13A	櫻護謨株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.6、呼称65 (シングル、ポリエスチル ポリエスチル/アラミド・ポリエスチルフィラメント綾織、円織)	R7.4.2

特定機器評価 型式評価

種 別	型 式 番 号	依 賴 者	型 式	承 認 年 月 日
特定駐車場用泡消火設備・閉鎖型泡水溶液ヘッド	認評駐閉第2025~1号	能美防災株式会社	バルブ型C66、感知範囲r2.3、呼称15 (標準r2.3、上向き、発泡倍率5倍未満)	R7.3.26
	認評駐閉第2025~2号	能美防災株式会社	バルブ型C88、感知範囲r2.3、呼称15 (標準r2.3、上向き、発泡倍率5倍未満)	R7.3.26
	認評駐閉第2025~3号	能美防災株式会社	バルブ型C66、感知範囲r2.3、呼称15 (標準r2.3、下向き、発泡倍率5倍未満)	R7.3.26
	認評駐閉第2025~4号	能美防災株式会社	バルブ型C88、感知範囲r2.3、呼称15 (標準r2.3、下向き、発泡倍率5倍未満)	R7.3.26
特定駐車場用泡消火設備・開放型泡水溶液ヘッド	認評駐開第2025~1号	能美防災株式会社	呼称15 (標準r2.3、下向き、発泡倍率5倍未満)	R7.3.26

検定対象機械器具等申請一覧表

種別	型式試験 申請件数	型式変更試験 申請件数	型式適合検定				
			申請件数	申請個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
消火器	大型	0	0	8	2,478	59.8	59.8
	小型	0	0	55	445,659	83.6	83.6
消火器用消火薬剤	大型用	0	1	50	皆増	皆増	
	小型用			12	6,355	105.5	105.5
泡消火薬剤		2		20	159,940	158.1	158.1
感知器	差動式スポット型	0	0	39	429,355	166.4	166.4
	差動式分布型	0	0	14	6,800	119.7	119.7
	補償式スポット型	0	0	0	0	-	-
	定温式感知線型	0	0	0	0	-	-
	定温式スポット型	1	0	38	171,794	128.7	128.7
	熱アナログ式スポット型	0	0	14	12,030	136.3	136.3
	熱複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	イオン化式スポット型	0	0	0	0	-	-
	光電式スポット型	0	0	50	194,429	163.9	163.9
	光電アナログ式スポット型	0	0	19	57,465	129.6	129.6
	光電式分離型	0	0	5	450	120.0	120.0
	光電アナログ式分離型	0	0	2	124	111.7	111.7
	光電式分布型	0	0	0	0	-	-
	光電アナログ式分布型	0	0	0	0	皆減	皆減
	煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	熱煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	紫外線式スポット型	0	0	3	440	2,200.0	2,200.0
	赤外線式スポット型	0	0	10	1,268	178.3	178.3
	紫外線赤外線併用式スポット型	0	0	0	0	皆減	皆減
	炎複合式スポット型等	0	0	0	0	-	-
発信機	P型1級	0	0	10	23,210	98.2	98.2
	P型2級	0	0	10	6,429	183.0	183.0
	T型	0	0	0	0	-	-
	M型	0	0	0	0	-	-
中継器		1	1	93	48,391	111.1	111.1
受信機	P型1級	0	0	55	2,698	122.9	122.9
	P型2級	0	0	17	2,150	57.0	57.0
	P型3級	0	0	1	10	2.9	2.9
	M型	0	0	0	0	-	-
	R型	0	0	8	137	108.7	108.7
	G型	0	0	1	1	14.3	14.3
	GP型1級	0	0	10	14	73.7	73.7
	GP型2級	0	0	0	0	-	-
	GP型3級	0	0	7	38,112	78.4	78.4
	GR型	0	0	16	208	151.8	151.8
閉鎖型スプリンクラーヘッド		0	0	18	62,278	28.1	28.1
流水検知装置		0	0	31	2,087	102.4	102.4
一斉開放弁		1	0	21	3,005	129.2	129.2
金属製避難はしご	固定はしご	0	0	0	0	皆減	皆減
	立てかけはしご	0	0	0	0	-	-
	つり下げはしご	0	0	24	13,735	115.8	115.8
緩降機		0	0	4	540	100.0	100.0
住宅用防災警報器	定温式住宅用防災警報器	0	0	18	87,324	205.5	205.5
	イオン化式住宅用防災警報器	0	0	0	0	-	-
	光電式住宅用防災警報器	0	0	31	406,805	141.4	141.4
合計		5	1	665	2,185,771	114.4	114.4

※前年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

性能評価申請一覧表

特殊消防用設備等性能評価業務	性能評価 申請件数	性能評価変更 申請件数
特殊消防用設備等の性能に関する評価	0	0

受託評価等依頼一覧表

品質評価業務	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価				
				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
補助警報装置及び中継装置	0	0	0	0	0	-	-	
音響装置	0	0	0	0	0	-	-	
予備電源	0	0	0	1	12,500	66.8	66.8	
外部試験器	0	0	1	3	100	58.8	58.8	
放火監視機器	放火監視センサー	0	0	4	1	597	100.0	
	受信装置等	0	0	0	0	-	-	
光警報装置	0	0	0	2	800	100.0	100.0	
	光警報制御装置	0	0	1	30	皆増	皆増	
屋外警報装置	0	0	0	0	0	-	-	
屋外警報装置に接続する中継装置	0	0	0	0	0	-	-	
	0	0	0	0	0	-	-	
消火器加圧用ガス容器	0	0	0	1	1,500	7.3	7.3	
蓄圧式消火器用指示圧力計	0	0	1	4	400,002	78.4	78.4	
消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁	0	0	2	3	3,200	65.9	65.9	
消火設備用消火薬剤	0	0	0	7	75,148	130.7	130.7	
住宅用スプリンクラー設備	0	0	0	0	0	-	-	
構成部品	0	0	0	0	0	-	-	
	0	0	0	0	0	-	-	
動力消防ポンプ	消防ポンプ自動車	1	0	0	42	63	165.8	
	可搬消防ポンプ	0	0	3	298	162.8	162.8	
消防用吸管	呼称65を超えるもの	0	0	3	650	295.5	295.5	
	呼称65以下のもの	0	0	2	70	233.3	233.3	
消防用ホース	平 40を超えるもの	0	0	8	8	123.5	123.5	
	平 40以下のもの	0	0	2	8	143.5	143.5	
	濡れ	0	0	0	0	-	-	
	保形	0	0	0	3	162.2	162.2	
消防用結合金具	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	-	-	
	差込式	0	0	4	29	99.5	99.5	
	ねじ式	0	0	0	20	107.8	107.8	
	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	-	-	
漏電火災警報器	同一形状	0	0	0	2	200	皆増	
	変流器	0	0	0	9	185.3	185.3	
	受信機	0	0	0	7	2,237	137.7	
	エアゾール式簡易消火具	0	0	0	2	41,980	皆増	
特殊消防ポンプ自動車	特殊消防ポンプ自動車	1	0	0	15	146.2	146.2	
	特殊消防自動車				8	266.7	266.7	
	可搬消防ポンプ積載車	0	0	0	0	-	-	
	ホースレイヤー	0	0	0	1	皆増	皆増	
消防用接続器具	消防用積載はしご	0	0	0	7	85	皆増	
	消防用接続器具	1	0	0	13	3,655	86.3	
	品質評価業務				確認評価			
					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
外部試験器の校正				9	18	60.0	60.0	
オーバーホール等整備				4	4	400.0	400.0	

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

受託評価等依頼一覧表

認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
地区音響装置		0	0	4	22	27,657	121.4	121.4
非常警報設備	非常ベル及び自動式サイレン	0	1	17	36	5,182	67.0	67.0
	放送設備	0	0	17	68	55,105	160.3	160.3
パッケージ型自動消火設備		0	0	0	0	0	-	-
	構成部品	0	0	0	0	0	-	-
総合操作盤		0	0	0	0	0	-	-
屋内消火栓等	易操作性1号消火栓	3	0	1	10	2,208	91.2	91.2
	2号消火栓	0	0	1	6	860	80.9	80.9
	広範囲型2号消火栓	0	0	1	8	630	84.0	84.0
	補助散水栓	0	0	0	0	0	-	-
	ノズル	0	0	0	19	8,204	99.8	99.8
認定評価業務		装着番号付与 確認評価 依頼件数		更新等 依頼件数	製品確認評価			
屋内消火栓等	消防用ホースと結合金具の装着部				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
		0		0	15	88,859	686.2	686.2
認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
特定駐車場用泡消火設備					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
認定評価業務	総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備(評価)	0				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備・構成装置		0	0	1	7	7	53.8	53.8
特定機器評価業務		総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価		
特定消防機器等						依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)
受託試験及びその他の評価		依頼件数			依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
受託試験(契約等)		0						
受託試験(その他の契約等)					3	3	300.0	300.0
評価依頼(基準の特例等)		0						

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「増加」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「減少」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。



暦の上では小満。また一步本格的な夏に近づいています。

これを書いているのは4月下旬なので、消防大学校近辺の桜の花は散り始めています。若葉が顔を出しており、太陽の光を浴びて生き生きとしています。風景も日ごとにあざやかに移ろいでいます。一方で、気温は上昇しており、4月なのに夏日を記録し、熱中症への対策の呼びかけもありました。みなさまも体調にお気をつけください。

毎年4月は科学技術週間に合わせて、消防庁消防大学校、消防研究センター、一般財団法人消防防災科学センターと合同で施設の一般公開を開催しています。今年は発明の日でもある4月18日（金）に開催いたしました。参加者数も436名の方に足をお運びいただきました。本当にありがとうございます。

した。

さて、当協会ホームページに掲載している「型式情報検索システム」機能ですが、先月号は「失効状況検索（型式番号）」を紹介しました。今月号は「承認一覧検索（キーワード）」を紹介しております。どちらの検索もお手持ちのスマートフォン、タブレットから当協会ホームページにアクセスすることで利用できます。ご活用いただければと思います。

本誌巻頭のことばは、広島市消防局長の貞森英樹様にご寄稿いただきました。誠にありがとうございました。

6月号では、千葉市消防局長の市村裕二様には巻頭のことばを、当協会からは「令和6年度の検定業務を振り返って」、「第66回消防機器業務懇談会の概要」などを掲載する予定です。

検定協会からのお願い

検定協会では、消防用機械器具等について検定及び受託評価を行い、性能の確保に努めているところですが、さらに検定及び受託評価方法を改善するため、次の情報を収集しています。心あたりがございましたら、ご一報下さいますようお願いします。

（1）消防用機械器具等の不作動、破損等、性能上のトラブル例

（2）消防用機械器具等の使用例（成功例又は失敗例）

連絡先 東京都調布市深大寺東町4-35-16

日本消防検定協会 企画研究課

電話 0422-44-8471（直通）

E-mail

⟨kikaku@jfeii.or.jp⟩

発行 日本消防検定協会

<https://www.jfeii.or.jp>



本 所 〒182-0012 東京都調布市深大寺東町4-35-16
TEL 0422-44-7471(代) FAX 0422-47-3991



大 阪 支 所 〒530-0057 大阪市北区曾根崎2-12-7 清和梅田ビル4階
TEL 06-6363-7471(代) FAX 06-6363-7475



虎ノ門事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館11階
TEL 03-5962-8901(代) FAX 03-5962-8905

検定協会だよりはホームページでもご覧になります。

当該刊行物にご意見・ご要望・ご投稿がありましたら、本所の企画研究部情報管理課検定協会だより事務局までお問い合わせください。

e-mail : kikaku@jfeii.or.jp 専用FAX 0422-44-8415

